

第193回（平成31年2月17日施行）

## 2級工業簿記

### 第1問

さまざまな原価の消費額がそれぞれ直接材料費，直接労務費，間接材料費，間接労務費，間接経費のいずれに分類されるかを問う問題です。

### 第2問

製品の受注から製造，販売，売上原価の振替までの一連の流れを想定した仕訳を問う問題です。

### 第3問

単純総合原価計算において，直接材料費と加工費の勘定記入と平均法による完成品原価および月末仕掛品原価の計算を，ボックス図を用いて計算できるかを問う問題です。

### 第4問

原価要素が消費され完成品となり，販売されて売上原価になるまでの勘定の流れが理解できているかを問う問題です。

### 第5問

材料元帳から製造指図書ごとの直接材料費を算定できること，製造指図書ごとの直接労務費を直接作業時間にもとづいて算定できること，製造間接費を直接作業時間にもとづいて各製造指図書に配賦できること，個別原価計算における原価計算表の作成ができることを問う問題です。また棚卸減耗費の発生額を材料勘定から製造間接費勘定に振り替える仕訳が理解できているかも問う問題となっています。